


收受年月日	議長	事務局長	書記
元・5・24			
第 33 号			

令和元年 5 月 28 日

埴町議会議長 大縄 武夫 様

総務常任委員会委員長 鈴木 安次

### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

#### 記

- 1 調査事件
- ①埴保育園の運営状況について
  - ②棚倉消防署埴分署新庁舎建設用地について
  - ③総務常任委員会所管の委託料及び補助金について

2 調査の経過

本委員会は、埴保育園の運営状況、及び棚倉消防署埴分署新庁舎建設用地、総務常任委員会所管の委託料及び補助金について各担当課長等から聞き取り調査を行った。

調査日 平成 31 年 4 月 26 日（金） 13：30～15：55  
出席委員 鈴木安次、小林達信、小峰由久、吉田克則、高縁 光、青砥與藏、大縄武夫  
説明員 保育園長、主任主査保育士、保育士  
副町長、総務課長、財政係長、健康福祉課長、町民課長、学校教育課長、給食センター所長、生涯学習課長補佐  
職務出席者 議会事務局長、書記  
場 所 保育園及び委員会室

3 調査の結果

(1) 埴保育園の運営状況について

現在埴保育園には 4 月 26 日現在で 0 歳児 4 人を保育士 2 人補助員 1 名の 3 人で見ている。定数は 3 人に 1 人以上の保育士が必要であるので足りている状況ではあるが、最初の集団生活のため、けがや事故などに気を使い、

おむつ替えや寝かしつけ等にも時間がかかるので大変な仕事である。

1歳児は20人であるが誕生日で2組に分けている。保育士定数は6人に1人以上必要であるが保育士各2人補助員も各1人ついて定数には足りている状況である。

2歳児は14人で2組に分けている。保育士定数は6人に1人以上必要であるが、保育士3人補助員3人で保育に当たっている。

3歳児は25人で保育士定数は20人に1人以上必要で、保育士2人補助員1人で定数には足りているように見えるが、各組にそれぞれ障害を持つ子供がいるため、人手をより必要とする綱渡りの保育状況である。特別な対応を必要とする家庭もあり、事務や翌日の準備をする時間も足りないとのことであった。

また、政府が主導する働き方改革で保育士にも休日を取らせなければならぬため、残った保育士で対応しているが、仕事量が逆に増えているのは皮肉な結果である。補助員を増員するなど、安全安心な保育園運営に当たっていかねばならない。

所管事務調査以外であるが令和元年5月8日には滋賀県大津市で園児2人が死亡する事故があり、15日には千葉県市原市の公園で遊んでいる園児の所に車が突っ込み、園児をかばった保育士が重傷を負った事故があった。

はなわこども園開園予定地付近は、道幅も狭く交通量も多いので登園時や降園時には特に人員を配置するなどして、園児の安全に万全を期さなければならぬ。

## (2) 棚倉消防署塙分署新庁舎建設用地について

棚倉消防署塙分署新庁舎建設用地について、塙町による上石井地区の説明会において土地を買収するとの説明であったと聞いていたが、その後どのような経緯をたどって賃貸になったのか確認の為に所管事務調査を行った。

担当課長の説明によると、当初から賃貸契約での引継ぎであったので買収の話は聞いていないとのこと。続けて当時総務課長だった副町長から聞き取りを行ったところ、当初から賃貸での説明であり買収の話はしていないとのことであった。

確認のため、後日上石井地区の説明会に出席した数名に話を聞いたところ、当時の総務課長の話とは違い「買収する計画である」とのことだった。

地域住民対象の説明と町が実行することに相違がある場合には、どのような経緯から変更になったのか、行政の信用に関わる事なので丁寧な説明責任があると思うが今の町当局には感じられない。

### (3) 総務常任委員会所管の委託料及び補助金について

総務常任委員会所管の委託料及び補助金の調査を行ったところ、件数と金額は以下のとおりである。

- ・総務課所管：補助金 3 件 456 万円 委託料 40 件 9,971 万円
- ・町民課所管：委託料 16 件 2,057 万円
- ・健康福祉課所管：補助金 18 件 1 億 5,496 万円 委託金 34 件 6,808 万円
- ・保育園所管：委託金 6 件 38 万円
- ・学校教育課所管：補助金 5 件 1,252 万円 委託料 43 件 6,660 万円
- ・生涯学習課所管：補助金 10 件 878 万円 委託料 47 件 3,921 万円
- ・学校給食センター所管 委託料 2,927 万円

当初予算書を見るたびに思っていたことであったが、総務常任委員会所管の委託料及び補助金でもこの多さである。経済常任委員会所管を合わせるとどの位の金額になるのか想像もできない。

人件費、公債費、補助金、委託金、恒常的にかかっている金額が多いので、自主財源が 3 割にも満たない埴町に置いては抜本的な行財政改革が必要である。

## 4 委員報告書

別紙のとおり



收受年月日	議員派遣	事務局長	調査研	修等報告書
元・5・2/	委員派遣			
第 号				

令和元年 5 月 19 日

委員会委員長

様

提出者

鈴木安次

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査報告書		
派遣の 日時	平成 31 年 4 月 26 日	派遣先 (場所)	保育園及び委員会室
内容	<p>第一 塙保育園の運営状況について</p> <p>第二 棚倉消防署塙分署新庁舎建設用地について</p> <p>第三 総務常任委員会所管の委託料及び補助金について</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>第一 塙保育園の運営状況について</p> <p>現在塙保育園には 4 月 26 日現在で 0 歳児 4 人を保育士 2 人補助員 1 名の 3 人で見ている。定数は 3 人に 1 人以上の保育士が必要であるので足りている状況ではあるが、最初の集団生活のため、けがや事故などに気を使い、おむつ替えや寝かしつけ等にも時間がかかるので大変な仕事である。1 歳児は 20 人であるが誕生日で 2 組に分けている。</p> <p>保育士定数は 6 人に 1 人以上必要であるが保育士各 2 人補助員も各 1 人ついて定数には足りている状況である。</p> <p>2 歳児は 14 人で 2 組に分けている。</p> <p>保育士定数は 6 人に 1 人以上必要であるが、保育士 3 人補助員 3 人で保育に当たっている。</p> <p>3 歳児は 25 人で保育士定数は 20 人に 1 人以上必要であるが保育士 2 人補助員 1 人で定数には足りているように見えるが、各組にそれぞれ障害を持つ子供がいて人手をより必要とする綱渡りの保育状況である。</p> <p>特別な対応を必要とする家庭もあり、事務や次の日の準備をする時間も足りないとのことであった。</p> <p>又、政府が主導する働き方改革で保育士に休日も取らせなければならないため、残った保育士で園児たちを見なければならないので返って仕事が増えているのは皮肉な結果である。</p> <p>補助員を増やす等して安心安全な保育園運営に当たっていかなければならない。</p> <p>所管事務調査以外であるが令和元年 5 月 8 日には滋賀県大津市で園児 2</p>		

人が死亡する事故があり、15日には千葉県市原市の公園で遊んでいる園児の所に車が突っ込み園児をかばった保育士が重傷を負った事故がありました。

はなわこども園開園予定の場所は道幅も狭く交通量も多いので登園時、降園時には特に人員を配置するなどして園児の安全に万全を期さなければならない。

## 第二 棚倉消防署塙分署新庁舎建設用地について

棚倉消防署塙分署新庁舎建設用地について、塙町による上石井地区の説明会において土地を買収するとの説明であったと聞いていたが、その後どのような経緯をたどって賃貸になったのか確認の為に所管事務調査を行った。

担当課長の説明によると当初から賃貸契約での引継ぎであったので買収の話は聞いていないとのことであった。

当時の総務課長から聞き取りを行ったところ当初から賃貸での説明であり買収の話はしていないとのことであったので、後日、上石井地区の説明会に出席した人、数名に話を聞いたところ当時の総務課長の話とは違い「買収する計画である」との説明であった。

地域住民対象の説明と町が実行することに相違がある場合にはどのような経緯をたどって変更になったのか、行政の信用にかかわることなので丁寧な説明責任があると思うが今の町当局には感じられない。

## 第三 総務常任委員会所管の委託料及び補助金について

総務常任委員会所管の委託料及び補助金の調査を行ったところ、総務課所管の補助金3件で4,563,000円委託件数は40件で99,711,000円である。

町民課所管の委託件数は16件で20,579,080円になる。

健康福祉課所管は補助件数18件で金額154,962,400円委託金は件数で34件68,085,442円

保育園の委託料は6件で381,309円

学校教育課所管の補助金件数は5件12,525,000円

委託件数は43件66,607,000円

生涯学習課の補助件数は10件8,780,000円

委託料は47件39,219,000円になる。

又、学校給食センターの委託料は29,279,000円であった。

当初予算書を見るたびに思っていたことであったが、総務常任委員会所管の委託料及び補助金でもこの多さである。経済常任委員会所管を合わせるとどの位の金額になるのか想像もできない。

人件費、公債費、補助金、委託金、恒常的にかかっている金額が多いので、自主財源が3割にも満たない塙町に置いては抜本的な行財政改革が必要である。

收受年月日	議 長	事務局長	書記
元・5・2	委員派遣	委員派遣	調査
第 号	根本	根本	根本

## 調査研修等報告書

令和元年 5 月 19 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 小 峰 由 久

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	平成 31 年 4 月 26 日	派遣先 (場所)	保育園及び委員会室
内容	<p>第 1 埴保育園の運営状況について</p> <p>第 2 棚倉消防署埴分署新庁舎建設用地について</p> <p>第 3 総務常任委員会所管の委託料及び補助金について</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>(1) 保育園の現状について 園長及び保育士より説明をいただいた。正職員になった事で責任感と意欲が感じられた。同時に慢性的な人手不足も感じた。</p> <p>(2) 埴分署移転について 総務課長より説明があり、内容を了解した。</p> <p>(3) 所管の委託料及び補助金について 各課より説明があった。委託料や各種事業計画及び調査について人任せに して、本当に住民本位、住民目線の責任ある仕事ができるのだろうか。 楽しい仕事ができるか疑問。補助金は大変な数であり、不断の見直し、必 要性の検討を望む。</p>		





收受年月日	議長	事務局長	書記
元・5・17	議員派遣	委員派遣	調査
第 号	大綱	田	根本

研修等報告書

令和元年 5月 17日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 高縁 光

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	平成31年 4月26日(金) 午後1時30分 午後4時	派遣先 (場所)	埴保育園, 委員会室
内容	<p>① 埴保育園の運営状況について</p> <p>② 棚倉消防署 埴分署 新庁舎建設用地について</p> <p>③ 総務常任委員会所管の委託料及び補助金について</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>(一) 0歳児から3歳児まで預かって保育していることを知る 父母と離れ子供達に寝かし方や転倒する子供に対する 面倒を見ていること努力が伺われた。 之曜日にも平日通り子供達を見ていることを知る 保育士が足りないことを知る(今後保育士を 多くしなければいけないと思われる)</p> <p>(二) 土石井地区に選定された理由 土石井地区の要望 による 前課長より貸借で引き継いでいる 敷地は1500㎡</p> <p>(三) 補助金及び委託料各担当課課長により資料 について説明された。 総務課 町民課 健康福祉課 保育園 学校教育 課 生涯学習課 公民館 図書館</p>		



收受年月日	議長	事務局長	書記
元・5・21			
第 号			

調査・研修等報告書




氏名	吉田 克則	提出年月日	令和元年5月20日
調査等名称	総務常任委員会所管事務調査		
調査等の日時	平成31年4月26日 13:30～	場所	委員会室及び埴保育園
調査等の内容	埴保育園の運営状況について 棚倉消防署埴分署新庁舎建設用地について 総務常任委員会所管の委託料及び補助金について		
意見感想	<p>埴保育園の運営状況について 埴保育園の運営状況について園長及び保育士から今の現状について話を聞いた。4月26日現在の在園児数63名、保育士13名・補助員ほかで埴保育園には25名の職員がいる。ひよこ組をはじめ6組があり保育士は園児一人ひとりの育児の状況を把握している。待機児童は無いという。建設中の「はなわこども園」の早急な運営体制づくりを望みたい。</p> <p>棚倉消防署埴分署新庁舎建設用地について 上石井地区に町が用地を手当して、埴分署新庁舎建設を計画している。用地選定に当たっては町有土地がある。それらの有効活用を考えるべきと思う。</p> <p>総務常任委員会所管の委託料及び補助金について 担当課長から委託料及び補助金の事業名・委託先、補助先・事業内容の説明を受けた。委託料及び補助金は数多く存在し予算に占める割合が高い。補助金については事業効果を検証し適切な補助額が望まれる。 委託料では電算システム関連で同じ委託業者に片寄る傾向がある。価格競争がない委託料の算定額になっている。改善すべきと考える。</p>		

埴町議会

100

○

○

收受年月日	議長	事務局長	書記
元・5・10			
第 号			

調査・研修等報告書

氏名	小林達信		提出年月日	令和元年5月
調査等名称	総務常任委員会所管事務調査			
調査等の日時	平成31年4月26日	場所	埴保育園及び心養会室	
調査等の内容	1 埴保育園の運営状況について			
	2 相倉消防署埴分署新庁舎建設用地について			
意見感想	3 委託料及び心補助金について			
	埴保育園について 幼児を育て子と言うことは大変なことなのに、仕事として良く始めてくれていと思う感謝しかありません。			
	2 良くあがた。			
	3        :        :			

11 12



收受年月日	議 長	事務局長	書 記
元・5・2/			
第 号			

## 総務常任委員会所管事務調査報告

令和元年5月20日

埴町議会議長 様  
総務常任委員会委員長 様

大 縄 武 夫

日 時 平成31年4月26日（金） 13：30～16：00  
場 所 埴保育園及び委員会室

第1． 保育園の運営状況について  
説明員 品川保育園長及び職員

園長より運営状況説明。  
その後質疑に入る。

保育園での保育士の数は入園者の数によって基準があり、埴町では職員の他に補助職員を配置しており、園児の安全面に配慮した管理ができていると思われる。これについては他の自治体よりも充実していると感じた。

今後も園児の安全を第一に、来年開園するこども園においても配慮願えればと希望する。

第2． 棚倉消防署埴分署新庁舎建設予定地について  
総務課長より説明。

その後質疑。

建設場所予定地については上石井地区を前提に説明会が開催されたとのことである。町民の安全、安寧を基本に、地域住民の理解を得ながら建設計画を進めていただきたい。

第3． 委託料及び補助金について


説明員 総務課、町民課、健康福祉課、教育委員会、  
各担当課ごとに説明し、それぞれ質疑。

多種多様な委託料や補助金が数多く存在し、それぞれに理由はあるが、電算業務等は基本システムがあるために随意契約を行っているのが現状である。理解はできるが、今後財政がますます厳しくなる中で町村間でのクラウド化等を推進し更なる経費削減をお願いしたい。

100





收受年月日	議長	事務局長	書記
元・5・7			
第 号			

## 総務常任委員会所管事務調査報告

令和元年5月3日

埴町議会議長 様  
総務常任委員会委員長 様

青 砥 與 藏

日 時 平成31年4月26日(金) 13:30~16:00

場 所 埴保育園及び委員会室

### 第1. 保育園の運営状況について

説明員 品川園長と職員

運営環境

- 保育士定数 (0歳児3名に対して保育士基準1名)  
現状、児童4名に対して保育士2名+補助員1名
- (1歳児6名に対して保育士基準1名)  
現状、児童20名に対して保育士4名+1保育士)
- (2歳児6名に対して保育士基準1名)  
現状、児童14名に対して保育士3名+1保育士)
- (3歳児20名に対して保育士基準1名)  
現状、児童25名に対して保育士2名+1保育士)

意見>児童数に対して職員数に問題はなく、教室ごとに補助員を付け対応。

手厚い対応が出来ていると感じました。

職員の休み、時間外労働の制約について苦慮している現状です。

### 第2. 棚倉消防署埴分署新庁舎建設予定地について

説明員 総務課

現在の埴分署の老朽化の対応として、新築移転を検討中。

20年の借地契約で打ち合わせ中。

意見>予定地は、契約確定していないので表示できませんが、長期間の契約なので十分なる理解の上で、契約し又周辺の住民説明も併せて対応をお願いします。

第3. 委託料及び補助金について

説明員 総務課、町民課、健康福祉課、教育委員会、

意見>多くの事業が民間への委託によって事業が行われている。

多くの契約が、随意契約であり、契約の平等性に反している。

言い訳に「予算が増大する、安定している」と説明している。

この項目は、行政改革の重要課題です、継続的な調査が必要。

